

Made in Kushima  
逸品ストーリー



# 口いっぱい広がる果汁！ 柑橘の女王！ 『せとか』

石上農園

石上農園の旬なカンキツ  
『せとか』と『不知火(しらぬい)』



両手でやっとおさまるくらいの大きさの『せとか』。剥きやすい皮の中にはコクのある果汁の粒がたっぷり詰まっています。  
「ここ最近メディアに取り上げられ、広く知ってもらえるようになりました」と話してくれたのは石上農園 3代目の石上雄士さん。『せとか』は2001年に果樹試験場で開発された新しい品種です。

「作り方が難しく、たくさんの方が取れる品種ではないんです」と雄士さん。難しさのひとつに「樹勢コントロール」があります。樹勢とは樹木の育成状態のこと、これが強くなり過ぎると量が取れる代わりに次年にまったく実がなくなることがあります。また、枝にはトゲがあり、樹勢が強いとトゲが鋭くなり自身自身を傷つけて商品価値を落としてしまうことも。細かい品質管理が必要だからこそ、おいしいものを作り出すことができます。

『せとか』を通して、少しでも串間の発展に貢献したいです」と雄士さん。ふるさと納税の返礼品としても積極的に参加し、現在では個人客からも直接注文が来るようになりました。

まるでジュースを飲んでいるかのような味わいの声も。ぜひ旬の『せとか』を味わってみませんか。